

審議会等の会議録

会議の名称	平成29年度第1回座間市公営企業運営審議会		
開催日時	平成29年11月13日(月) 13時30分～15時10分		
開催場所	座間市役所3階 3-1会議室		
出席者	飛田昭委員、塩脇雅孝委員、中野幸子委員、角田厚子委員、森繁委員、長本享一委員、窪博之委員、芥川とよ子委員、西海愛子委員、大谷勝也委員		
事務局	上下水道局長、参事兼経営総務課長、水道施設課長、下水道施設課長、経営総務課経営係長、経営総務課経理係長、経営総務課料金係長、水道施設課技幹兼管理係長、水道施設課技幹兼工務係長、下水道施設課技幹兼管理係長、下水道施設課技幹兼整備係長、経営総務課経営係主任、経営総務課経営係主事		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	0人
非公開・一部公開とした理由			
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問内容の確認及び今後の審議スケジュール等について ・ 公営企業会計の仕組み ・ 平成28年水道事業及び公共下水道事業決算の概要 ・ 水道事業及び公共下水道事業の現状と課題 ・ その他 		
資料の名称	<p>【当日配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 審議会委員名簿 ・ 審議スケジュール ・ 公営企業会計の仕組み ・ 平成28年度座間市水道事業会計及び公共下水道事業会計の決算資料、決算参考資料、説明資料 ・ 平成28年度座間市公営企業会計決算審査意見書 ・ 水道事業及び公共下水道事業の現状と課題 ・ 諮問書(写し) ・ 上下水道局庁舎等整備事業について ・ 口座振込先届出書 		

会議の内容

1 開会、定足数の確認

2 委員及び職員紹介

- ・事務局より座間市自治会総連合会選出の波多野一彦委員が森繁委員へと変更があったことの報告がありました。

3 諮問（水道料金及び下水道使用料等の見直し）

- ・公営企業管理者から、水道料金及び下水道使用料等の見直しについて諮問書が手渡されました。

4 議事

（1）諮問内容の確認及び今後の審議スケジュール等について

- ・事務局より、諮問内容の確認と今後の座間市公営企業運営審議会の審議スケジュール等について説明がありました。

【委員からの意見・質疑と回答】

- ・今後のスケジュールについて、項目をもう少し具体的にお示し願いたい。
→本日の第1回では、水道料金及び下水道使用料等の見直しについての諮問の他に、「審議スケジュール（案）」で説明致しました内容を含めて、水道事業及び公共下水道事業の現状と課題について説明させていただきます。第2回の日程案については、後ほど皆様にご提案させていただきますが、予定している審議内容については、現行の水道料金並びに下水道使用料の仕組み、算定方法及び料金体系の課題について事務局から説明させていただく予定であります。また、第3回から第5回の内容については「審議スケジュール（案）」に記載のとおりですが、審議の進行や委員の皆様からのご質問内容等によって適宜変更させていただきます。基本的には事務局から提案させていただき、ご意見やご質問等が出された場合は、その都度、審議会の中で回答させていただきます。全9回を予定しておりますが、具体的なスケジュールは今の段階では確定しておりません。

（2）公営企業会計の仕組み

- ・事務局より公営企業会計の仕組みについて説明がありました。

【委員からの意見・質疑と回答】

質疑応答なし。

(3) 平成28年水道事業及び公共下水道事業決算の概要

・事務局より平成28年水道事業及び公共下水道事業決算の概要について説明がありました。

【委員からの意見・質疑と回答】

質疑応答なし。

(4) 水道事業及び公共下水道事業の現状と課題

・事務局より水道事業及び公共下水道事業の現状と課題について説明がありました。

【委員からの意見・質疑と回答】

・水道事業の経営課題の4番目に記載されている、地下水利用専用水道使用者についてですが、その割合について教えてください。また、全体の使用水量に占める割合はどの位あるのでしょうか。

→地下水利用専用水道を使用している企業は、口径が大きい管で接続しているながら、その使用水量が非常に少ないということが問題です。使用水量などの具体的な内容については、今後の審議会の中で説明させていただきたいと考えております。

・3ページ目に記載されている公共下水道事業の経営課題について、有収水量は減少傾向（人口減少、少子高齢化、節水機器の普及等）とあります。人口減少と節水機器の普及等というのとは分かりますが、少子高齢化と有収水量の減少傾向の関係はどのように捉えているのですか。

→人口の減少と共に世帯数の割合や世帯に占める人数等が影響してくると考えております。例えば子育て中の世帯については、洗濯等が多くなりますので、使用水量も増加します。一方で、高齢者世帯ではあまり水を使わない等、世帯構成によって使用水量は変わってきます。

5 その他

事務局より上下水道局庁舎等整備事業についての説明と、報酬の支払い方法の変更について報告を行いました。

次回の審議会の開催については、12月7日（木）午後1時30分から行うこととなりました。

6 閉会